

# キャリア教育の推進について

## 1 現状

### (1) データから見る現状

○将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 [新晴れの国おかやま生き生きプラン  
生き生き指標]  
全国学力・学習状況調査 [小学校] **67.9%** (H28(2016)調査) (全国 68.9%)  
→ 目標：71.0% (H33(2021)調査)  
[中学校] **44.9%** (H28(2016)調査) (全国 45.1%)  
→ 目標：47.0% (H33(2021)調査)

○将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行っている小中学校の割合  
全国学力・学習状況調査 [小学校] **67.8%** (H28(2016)調査) (全国 74.6%)  
[中学校] **98.1%** (H28(2016)調査) (全国 97.1%)

○高等学校3年間の中でインターンシップや企業訪問等を体験した生徒の割合  
(公立全日制高校生) [第2次岡山県教育振興基本計画]  
職場体験・インターンシップの実施状況等調査 **58.1%** (H27(2015)実績)  
(普通系学科 **45.1%**, 職業系学科 **76.4%**, 総合学科 **59.6%**)  
→ 目標：100% (H32(2020))

### (2) 企業からの人材育成に対する意見

- ・職業選択のミスマッチを避けるため、インターンシップや応募前職場見学等の体験的な学習を充実させてほしい。
- ・職場環境に順応するため、コミュニケーション能力を身に付けてほしい。
- ・諦めない力を身に付けるため、失敗経験をさせてほしい。
- ・問題を発見して解決に至る、課題解決のトレーニングをしてほしい。
- ・商品開発を高校で体験することは有効である。
- ・海外勤務のため、マインド面を含め英語力を身に付けさせてほしい。

## 2 本県の目指す方向性

新晴れの国おかやま生き生きプラン 重点施策 ■キャリア教育の推進 等

- 子どもたちの学習意欲の高揚
- 基盤となる能力や望ましい勤労観・職業観の育成
- アクティブ・ラーニングによる課題解決力等の育成
- 豊かな人間関係を築き、互いに助け合える力の育成

### キャリア教育によって育成する力

- 人間関係形成・社会形成能力
- 課題対応能力

- 自己理解・自己管理能力
- キャリアプランニング能力

### 3 県の実組と課題

#### 就学前教育段階

「やる気」や「粘り強さ」等の非認知能力の向上

##### 【現状の実組】

遊びを通じた様々な体験活動の充実

- ・ 戸外でしっかり体を動かす
- ・ 友だちと目的を共有し、力を合わせて活動する
- ・ 様々な遊びを通して、試したり、確かめたり、工夫したりする など

##### 【課題】

- ・ 幼児期に身に付けさせたい力について、保護者と教員等との共有が十分でない。
- ・ 幼稚園教員や保育士への研修の充実が必要である。

#### 小学校段階

将来の夢を持つことを促進

##### 【現状の実組】

社会科や総合的な学習の時間等における体験学習

(見学先) 地元の農家、商店、警察署、消防署、工場など

※小学校学習指導要領に基づき、全小学校で実施されている。

##### 【課題】

- ・ 教育活動全体を通じたキャリア教育の位置付けが不明確である。
- ・ 体験を通じて職業や働く人への興味や関心を高める機会が少ない。

→ **新** 職業体験・起業体験推進事業 (H29 (2017) 年度)

#### 中学校段階

望ましい勤労観や職業観の育成、新しい価値を生み出す主体性や創造性、チャレンジ精神を育成

##### 【現状の実組】

全ての公立中学校で3～4日程度の職場体験活動 (チャレンジ・ワーク14)

(体験先) 飲食店、病院、保育所、老人ホーム、市役所、図書館など

##### 【課題】

- ・ 職場体験活動は全中学校で実施されているものの、実組のさらなる発展、充実につながっていない。
- ・ 体験を通じて、企画力や実行力、チャレンジ精神等を育成する実組が不足している。

→ **新** 職業体験・起業体験推進事業 (H29 (2017) 年度)

#### 高等学校段階

望ましい勤労観や職業観の確立、自己理解の深化と自己受容、将来設計の立案と社会的移行の準備

##### 【現状の実組】

インターンシップ等の推進

- ・ 地域企業等と連携した人材育成 (岡山県地域人材育成支援事業)
- ・ 進学を希望する高校生への県内産業見学ツアーの実施 [産業労働部]  
(We Love おかやま就職推進事業)
- ・ 地域の活性化に貢献する高校の魅力向上 (高校パワーアップ事業)

##### 【課題】

- ・ 普通科高校におけるインターンシップや企業訪問等を体験した生徒の割合が低い。
- ・ 専門科高校における国内での長期インターンシップや海外でのインターンシップの実績がほとんどない。
- ・ 地元就職率 (県外進学者を含む) の向上が求められている。

(県内の事例)

○普通科におけるキャリア教育

**岡山県立倉敷南高等学校**

21世紀型能力（人間関係形成力・問題解決力等）を備えた人材の育成

- Act Locallyの実践（「学びの志」の育成）（1年次）
  - ・フィールドワーク（地元企業等を訪問してのインタビュー等）の実施
  - ・ラーニングカフェ（地元企業人との座談会）の実施
  - ・ポスターセッション
- 地域実践と国際実践（学校設定科目（必修）「キャリアI」）（2年次）
  - ・選択した学問領域の課題研究の発表  
社会科学、人文科学、教育学、医療福祉、自然科学から15講座から選択
  - ・ポスターセッション
- Think Globallyの実践（3年次）
  - ・グローバルディベート大会の実施（クラス対抗）

【成果】自らの進路を具体的に描き、アプローチする生徒が増加した。

※「職業や大学で学びたい分野の研究を自分から相談・調査する」と回答した生徒の割合（H27(2015)：2年生） 41.9%（4月） → 62.2%（8月）

○学科の特色を生かした地域と連携したキャリア教育

**岡山県立興陽高等学校**

- 5科レンジャーによる取組（各科1名5人グループで依頼のあった高齢者宅を訪問し、5科の特徴を生かした支援の実施（平成25（2013）年度～）
  - 年間約50件以上を超える地域との交流活動を実施
  - 岡山県中小企業家同友会などとの連携によるインターンシップの実施（1年生全員参加）
- 【成果】1年生全員を対象にインターンシップを実施することで、早い段階での就業意識の高揚が図られている。  
5科が協働して地域からの要望に応えることで学校全体の取組に繋がる。

**岡山県立岡山南高等学校**

- 企業と共同した新商品の開発に関する取組（平成26（2014）年度～）
    - ・学生服メーカーと連携して「産学連携実学体験プロジェクト」を実践
      - ▶平成27(2015)年度 赤磐市内中学校体操服 商品化
      - ▶平成28(2016)年度 岡山市内中学校女子制服 商品化
  - 専門学科で学んだ知識や技能を活かした積極的な地域貢献活動の実施
- 【成果】高校卒業後は地域産業を支える人材として地元就職する生徒が多い。

### **岡山県立岡山東商業高等学校**

- 「東商デパート(岡山ドーム)」と「東商デパートサテライト店(表町商店街)」の出店(平成5(1993)年度～今年で23回目)
- 「高校生のハローワーク」の実施  
岡山ロータリークラブの協力により、県内の事業所トップが社会で求められる心構えを話す職業講座講演会を開催している。
- 科目：「課題研究」での企業等での実習講座や科目：「商品開発」などを実施し、教科におけるキャリア教育を実施している。  
【成果】県内就職率が高く、高校卒業後は地域産業を支える人材として地元就職する生徒が多い。

## 4 他県の事例

### **福島県いわき市** (小・中学校)

- ・公益財団法人ジュニア・アチーブメント日本と市教育委員会が共同で「いわき市体験型経済教育施設 Elem (エリム)」を設置。
- ・23の協賛企業等の協力の下、小・中学生が施設に再現した「街」の中で「社会のしくみや経済の働き」を体験学習でき、仕事をする意味や会社の仕組み等について学んでいる。

### **奈良県奈良市** (中学校)

- ・市立富雄中学校では、学校支援地域本部の組織を活用し、地元企業と連携して、ごま団子に奈良県月ヶ瀬産の古代米をまぶした「富より団子」を学区ブランド製品として開発。
- ・地域の行事や祭り、市教委のイベント等で生徒が販売するとともに、中学校ボランティア部が販路拡大に向け活動している。

### **静岡県** (高等学校)

#### 海外インターンシップ

- ・高校生(職業系学科・総合学科)を対象に県内中小企業の海外工場における就労体験等を実施し、県内企業への就労促進を図る。
- ・県内グローバル企業の本社の現状等を学習し、海外工場で就労体験している。  
(県内2日間、海外(東南アジアなど)4日間)